

アドミッションポリシー

四條畷学園大学リハビリテーション学部は、建学の精神「報恩感謝」と「人をつくる」という教育理念のもとに、常に感謝の心を持ち、広く社会に貢献できる人材の育成を目指している。このことは単に知識や技術を修得するだけでなく、常に他者の立場に立って最善の医療を実践したいという信念を持ったセラピストを養成するということである。

本学部ではこの実現に向け①社会に貢献する人間性豊かな尊敬される人材を育成する、②科学する力と旺盛な研究心を身につけたセラピストを育成する、③実践力のあるセラピストを育成する、という三つを具体的な教育目標としている。

そこで本学部を目指す受験生には次のような人を求めます。

1. 人への感謝を忘れず、人のために尽くそうという高い志を持っている人
2. 自分の力を保健（健康増進、障害予防）、医療（障害治療、回復）、福祉（障害者福祉、高齢者福祉）などの領域で生かしたいと思っている人
3. リハビリテーション専門職を目指す熱意とたゆまぬ向上心を兼ね備えた人
4. 規律を重視し、多様な人々と主体性を持って協働することができる人
5. リハビリテーション医学や隣接領域での最新の成果を生かした新しいリハビリテーション医療の創造に挑戦したいと思っている人

また最新のリハビリテーション医学の知識や実践力を修得するために、次のような素養および基礎学力を備えた人の受験を歓迎します。

1. 人とのコミュニケーションが大切であると考えている人
2. 文章の読解能力および表現能力を備えた人
3. 基礎的な演算能力を備えた人
4. 理数系の基礎科目に興味をもって学んだ人
5. 生物系の基礎科目に興味をもって学んだ人